



令和3年度

水稻の生育概況



埼玉県マスコット
「コバトン」

(令和3年7月5日現在)
埼玉県農業技術研究センター

要 約

- ◎気象概況：6月の平均気温は平年より0.7℃高く、降水量は平年の142%、日照時間は平年の109%となった。
- ◎生育状況：草丈、茎数、葉位とも平年並の生育である。
- ◎今後取るべき技術対策
 - ・水 管 理：早植栽培で中干し未実施のほ場はただちに実施。普通期栽培は移植後30～35日を目安に中干しを実施。
 - ・穂 肥：生育診断等に基づき、適切な穂肥を検討する。
 - ・病虫害防除：いもち病(葉いもち)に注意する。

1 気象の概況

6月の気温は第2、3半旬が平年より高く、特に第2半旬は平年より2.6℃高かった。その他の期間は概ね平年並であり、6月平均では平年より0.7℃高かった。降水量は第1～3、6半旬は平年より少なく、第2半旬は0.0mmだった。一方、第4半旬に1時間当たり最大51mmの非常に激しい雨が降り、月合計では平年の142%となった。日照時間は第2、3半旬が平年よりかなり多く、月合計では平年の109%となった。

2 生育の概況

(1) センター内生育相

ア 早期栽培(4月30日植 コシヒカリ)

6月第2、3半旬の高温多照によって生育は旺盛となったが、第4半旬の寡照と第4半旬以降の平年並の気温によって、生育は落ち着いた。移植後60日(6月30日)時点の草丈、葉位、乾物重はほぼ平年並で、茎数は平年よりやや多かった。

最高分けつ期は6月23日頃と平年(6月26日)より3日早かった。

移植後60日時点の幼穂長は1.0mm程度(平年値：1.0mm)であるため、出穂期は平年並(7月26日前後)が予想される。

イ 早植栽培(5月20日植 彩のかがやき)

草丈はほぼ平年並で推移した。

移植後30日(6月21日)時点の茎数は平年より多く、乾物重もかなり重くなった。

6月18日から30日まで実施した中干しによって、分けつの増加が抑えら

れ、移植後 40 日時点の茎数は平年並、乾物重はやや重くなった。葉位の進展は平年よりやや早かった。

ウ 普通期栽培（6月25日植 彩のきずな）

葉位の進展はやや遅れたが、充実度は平年並で活着は良好であった。

（2）県内全般

早期栽培では、草丈・葉数は、ほぼ平年並であるが、茎数がやや多い。

早植栽培では、草丈はほぼ平年並である。葉数はやや多く、茎数は多い。

中干し時期に曇雨天が続いたため、十分な効果が得られなかったものと思われる。

普通期栽培では田植作業は概ね平年並の 6 月末に終了した。

3 今後の生育予測

（1）気象予測

気象庁が7月1日に発表した1か月予報では、期間の前半は前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少なく、気温はほぼ平年並の見込みである。

平均気温は、高い確率が40%、並が30%、降水量は、多い確率が40%、並が40%、日照時間は、並の確立が40%、少ないが40%である。

また、6月25日発表の3か月予報では、8月は平年と同様に晴れの日が多い見込みで、気温は高い確率が40%、9月の天気は数日の周期で変わるが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い確率が40%である。

（2）生育予測

ア 早期栽培

7月5日現在の関東甲信地方の2週間予報では平均気温はほぼ平年並となっていることから、生育（出穂期）も平年並になるものと予想される。

イ 早植栽培

1か月予報の天候から、生育は平年並になるものと予想されるが、軟弱気味の生育が懸念され、いもち病の常発地域では注意を要する。

ウ 普通期栽培

1か月予報の天候から、生育は平年並になるものと予想されるが、軟弱気味の生育が懸念され、いもち病の常発地域では注意を要する。

4 今後取るべき技術対策

（1）早期、早植栽培

ア 水管理

早期栽培では出穂7日前～出穂7日後までは深水管理とする。

早植栽培で中干しを実施していないほ場では直ちに実施し、無効茎の発生を抑える。

中干し後～幼穂形成期までは間断かん水を励行し、無効茎の抑制と根の活

力維持に努める。

イ 穂肥

適期を逃さぬよう幼穂長、葉色等の診断結果に基づき穂肥を施用する。

基肥で緩効性肥料を施用している場合でも、穂肥時期に葉色を見て穂肥を検討する。

「彩のかがやき」では、適期（出穂前22～23日頃 幼穂長1～2mm）に葉色が4以下の場合は窒素成分3kg/10aを限度に穂肥を施用する。葉色が4以上の場合は低下するまで施用時期を遅らせ、窒素成分2kg/10a程度に減ずる。

また、出穂前10日頃（幼穂長10cm程度）に葉色を確認し、葉色が4以下の場合は2kg/10a程度を追加施用する。

(2) 普通期栽培

ア 水管理

移植後30～35日を目安に、有効茎を確保したら速やかに小ひびが入る程度に中干しを実施する。

イ 穂肥

「彩のかがやき」では、適期（出穂前25日頃 幼穂長0.5～1mm）に葉色が4以下の場合は窒素成分3kg/10aを限度に穂肥を施用する。葉色が4以上の場合は低下するまで施用時期を遅らせ、窒素成分2kg/10a程度に減ずる。

また、出穂前10日頃（幼穂長10cm程度）に葉色を確認し、葉色が4以下の場合は2kg/10a程度を追加施用する。

ウ 雑草防除

雑草が多発した場合は、草種・葉齢に合わせた除草剤（中期、後期剤）の適期散布を行う。用水量が少なく、湛水が維持できない場合は、中干し時期に合わせて落水茎葉処理タイプの除草剤を使用する。

(3) 病虫害防除

6月29日発表の埼玉県病虫害防除所の7月予報ではいもち病(葉いもち)の発生量は「やや多」であるので、葉いもちの感染好適条件の出現状況を参考に早期発見、早期防除に努める。

埼玉県病虫害防除所発表の7月1日発表のフタオビコヤガ（イネアオムシ）発生予測では、第2世代成虫最盛日は7月12日と予測され、平年と比較して1日早くなっている。

第4世代幼虫の発生までに防除をしないと被害が拡大するので、必ず第3世代幼虫のうち（7月）に防除する。また、農薬による防除効果の高い害虫であるが、幼虫の成育が速く被害が急速に進展するため、防除適期を心掛ける。防除適期は、葉にカスリ模様の食害痕が確認される時期である。

同じく7月1日発表のイネツトムシ（イチモンジセセリ幼虫）発生予測では、

第2世代幼虫の孵化最盛日は7月25日と予想され、平年と比較して2日早い。
孵化最盛日から4～7日の間が防除適期である。

詳しくは埼玉県病害虫防除所ホームページを参照のこと。

(<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0916/index.html>)

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（6月、熊谷气象台日別測定値から集計）

6月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	21.8	21.0	26.3	26.4	17.7	19.8	11.5	21.3	22.7	29.1
2	24.0	21.4	30.5	26.5	18.8	20.0	0.0	26.0	39.7	24.9
3	23.9	21.9	29.8	26.7	19.8	20.1	12.0	29.2	29.4	21.6
4	22.2	22.5	27.5	27.1	18.9	20.3	109.5	28.9	16.3	19.9
5	22.7	23.1	27.6	27.5	18.9	20.4	58.5	26.0	19.6	18.6
6	23.4	23.9	27.8	28.3	20.0	20.6	21.0	24.8	18.3	18.7
平均	23.0	22.3	28.3	27.1	19.0	18.3	合計 212.5	149.5	146.0	133.9

注) 半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均、合計値は気象台測定値。

平年値は1991～2020年の気象台測定値。

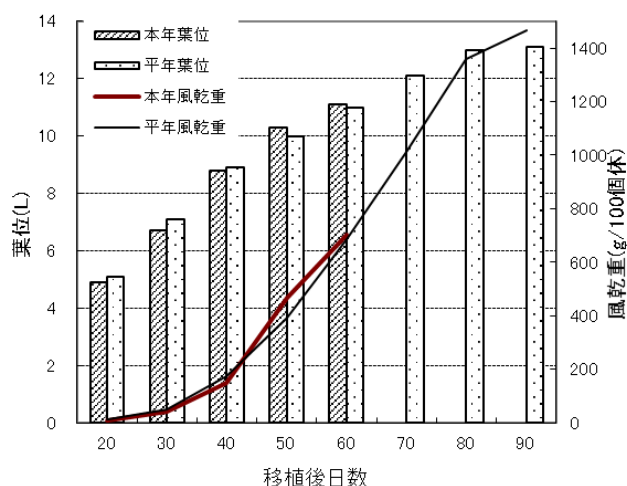
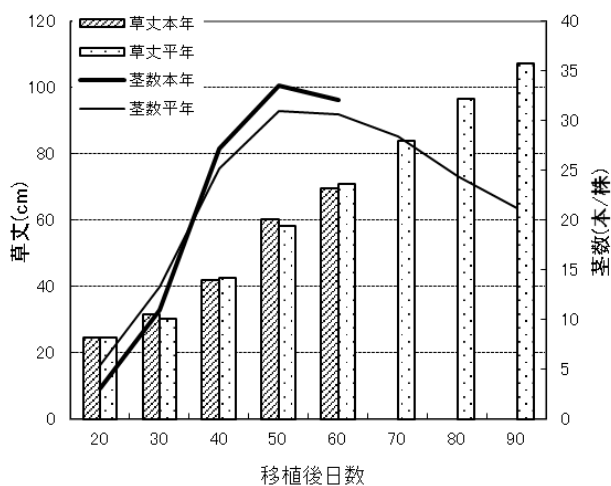
2 早期栽培（4月30日植 コシヒカリ）

(1) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
40	42.0	42.6	94	27.2	25.2	108	8.8	8.9	-0.1	150.6	174.3	86
50	60.4	58.2	104	33.5	31.0	108	10.3	10.0	0.3	467.1	393.0	119
60	69.6	70.8	98	32.1	30.6	105	11.1	11.0	0.1	703.2	684.3	103

注) 平年値は平成11年～令和2年の平均(H22を除く)。 平年比は%

(2) 生育経過



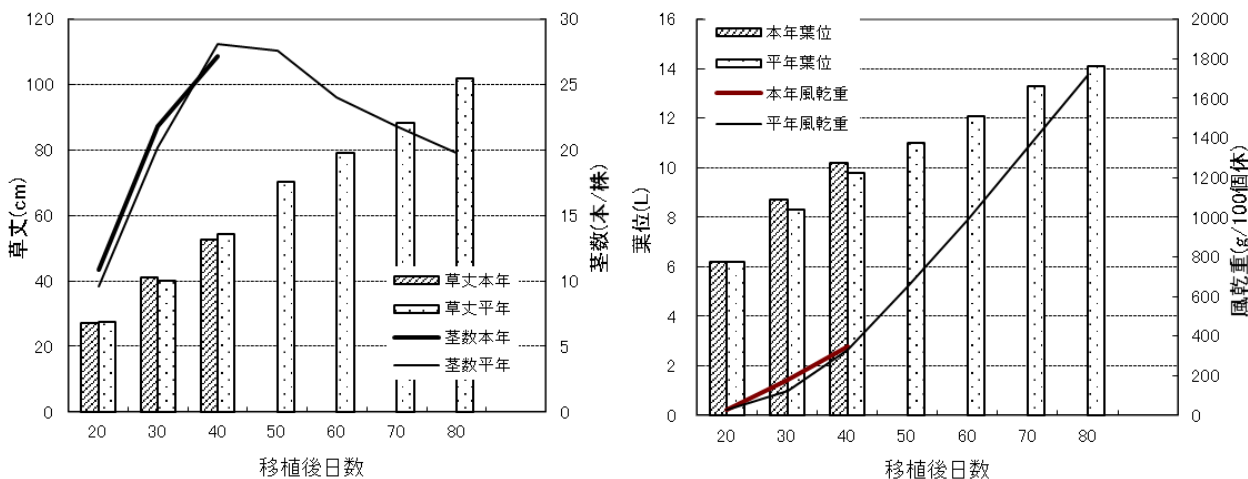
3 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

（1）本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	27.2	27.3	99	10.9	9.6	114	6.2	6.2	0.0	27.2	26.1	106
30	41.1	40.2	102	21.8	20.2	108	8.7	8.3	0.4	179.2	125.1	143
40	52.5	54.3	97	27.2	28.1	97	10.2	9.8	0.4	347.6	332.0	105

注) 平年値は平成11年～令和2年の平均(H22を除く)。 平年比は%

（2）生育経過

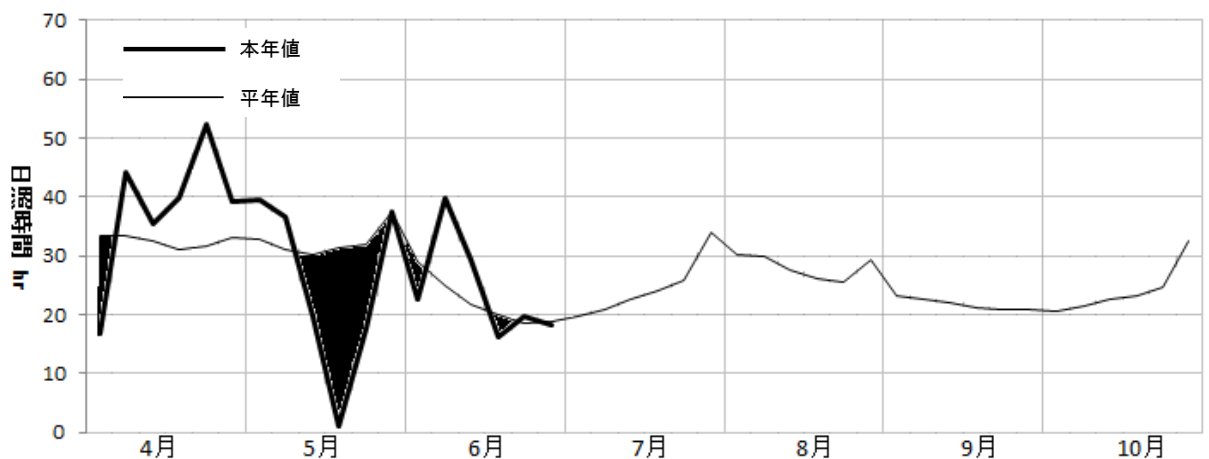
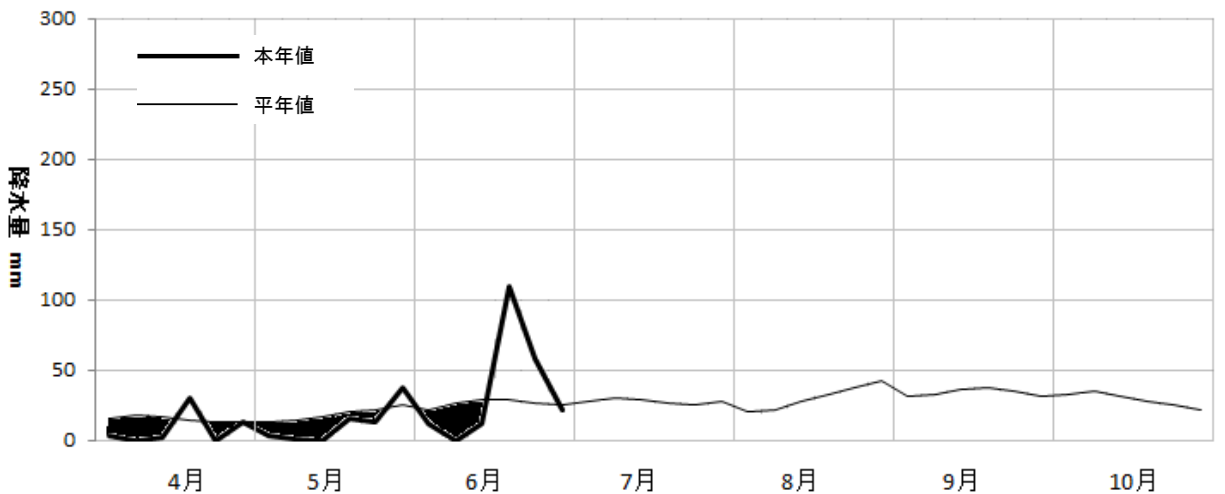
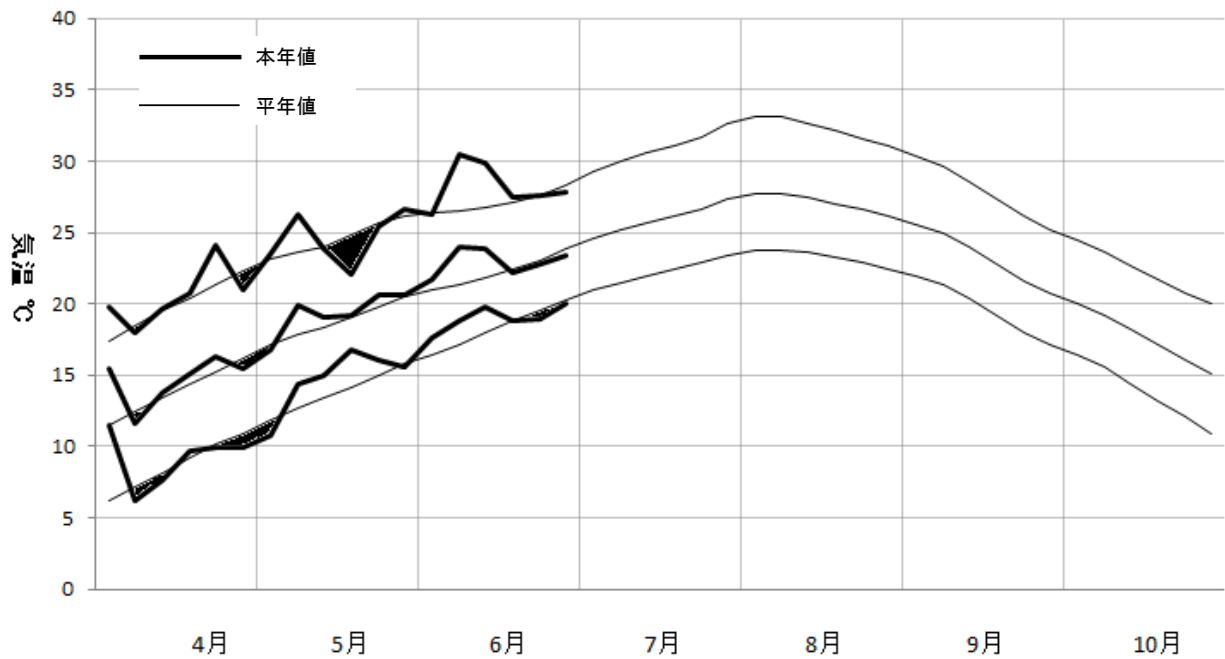


4 普通期栽培（6月25日植 彩のきずな）

（1）苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
16.7	16.3	102	3.2	3.6	-0.4	2.80	2.90	97	1.68	1.78	-0.10

注) 平年値は平成27年～令和2年の平均。 平年比は%



令和3年夏作期間気象図

(熊谷気象台日別測定値から作成)